

平成22年 8月12日

各 位

会 社 名 株式会社エム・エイチ・グループ
本社所在地 東京都渋谷区千駄ヶ谷1丁目11-1
代 表 者 代表取締役社長 佐藤 文彦
(コード番号) (9439)
問い合わせ先 取 締 役 小林 繁之
(TEL) (03-5411-7222)

営業外費用、特別利益及び特別損失の発生、並びに
平成22年6月期通期業績予想（連結・個別）の修正に関するお知らせ

営業外費用、特別利益及び特別損失の発生並びに最近の動向を踏まえ、平成21年8月14日に公表した平成22年6月期（平成21年7月1日～平成22年6月30日）の業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 営業外費用、特別利益及び特別損失の発生並びにその内容

(1) 営業外費用の計上

当社が出資している不動産関連投資事業組合の運営は順調に推移し、第3四半期まで予想を上回る運用益を計上しておりました。しかしながら、第4四半期において当該組合が運用している不動産の処分予定価額が、当該組合の社債の発行総額を下回る予定である旨の通知を受けたため、当社持分の全額が回収不能になる可能性が極めて高くなりました。当社としましてはこれを受けて、当該組合の簿価の全部を減少させ、当社持分の帳簿残高にあたる45百万円を投資事業組合運用損として計上する予定であります。

従いまして、個別財務諸表及び連結財務諸表におきましては、投資事業組合運用損が45百万円増加する見込みであります。第3四半期までの投資事業組合運用益が予想を上回っておりましたので、営業外損益は、差引で前回予想より11百万円減少する見込みであります。

(2) 特別利益及び特別損失の計上

当社は、美容室運営事業に経営資源を集約することを目的に、平成21年8月14日にITアパレル事業を営む株式会社ジョリーブティックの全株式を売却いたしました。これにより関係会社株式売却益が30百万円発生いたしました。

一方、当社の電話加入権9百万円及び完全子会社である株式会社アトリエ・エム・エイチ（以下「AMH」という。）の電話加入権3百万円について、その資産価値が見込まれないことから全額減損損失として処理することといたしました。また、AMHが運営しておりますサロンの移転拡張リニューアルを平成22年10月に予定していることから、当該店舗の内装設備の移転時の予想簿価1百万円を減損損失として、原状回復費6百万円を店舗閉鎖損失として計上する予定であります。

従いまして個別財務諸表におきまして9百万円、連結財務諸表におきまして20百万円、それぞれ特別損失が増加する見込みであります。

2. 平成22年6月期連結業績予想の修正及び修正理由

(1) 平成22年6月期連結業績予想の修正（平成21年7月1日～平成22年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	百万円 1,900	百万円 90	百万円 30	百万円 10
今回予想 (B)	1,766	72	1	39
増減額 (B-A)	△134	△18	△29	29
増減率 (%)	△7.05	△20.00	△96.67	290.00
(ご参考) 前期実績 (平成21年6月期)	2,519	△129	△310	△1,677

(2) 修正理由

当連結会計年度におきましては、顧客単価はほぼ前年並みを維持したものの個人消費低迷の影響により顧客の来店周期が伸びたため、売上高は前回予想より134百万円減収の1,766百万円、営業利益も売上高の減少に伴い前回予想から18百万円減益の72百万円となる見込みであります。経常利益におきましては、「営業外費用、特別利益及び特別損失の発生並びにその内容」のご説明のとおり、第3四半期までは不動産関連投資事業組合からの運用益が予想を上回ったものの、第4四半期において当社の持分全額が回収不能になる可能性が極めて高いことから、前回予想から29百万円減少の1百万円となる予定であります。

しかしながら、当期純利益につきましては、「営業外費用、特別利益及び特別損失の発生並びにその内容」でご説明したとおり20百万円の特別損失が発生したものの、当社の連結子会社であった株式会社ジョリーブティックの全株式を売却したことによる関係会社株式売却益30百万円の計上、当期の組織再編による当社グループ全体の収益体質への転換により、平成23年6月期も順調に収益を計上できる見込みであることから、法人税等調整額△50百万円の計上により、前回予想と比べ29百万円増加の39百万円となる見込みであります。

3. 平成22年6月期通期個別業績予想の修正及び修正理由

(1) 平成22年6月期個別業績予想の修正（平成21年7月1日～平成22年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	百万円 100	百万円 △85	百万円 △140	百万円 0
今回予想 (B)	229	40	△27	76
増減額 (B-A)	129	125	113	76
増減率 (%)	129.00	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成21年6月期)	47	△186	△373	△3,222

(2) 修正の理由

個別の業績予想につきましては、第4四半期会計期間において子会社からの配当120百万円を実施したため売上高が129百万円増加の229百万円、営業利益につきましては前回の△85百万円の営業損失予想から40百万円となる予定であります。経常利益につきましては、売上高の増加に伴い前回予想を大幅に上回りますが、「営業外費用、特別利益及び特別損失の発生並びにその内容」でご説明したとおり、営業外費用の増加により△27百万円となる見込みであります。また、当期純利益につきましては、76百万円となる予定ですが、これは電話加入権に係わる減損損失9百万円が発生したものの、当社の完全子会社であった株式会社エム・エイチ・グループとの合併による抱合株式消滅差益47百万円と法人税等調整額△28百万円の計上、並びに連結納税制度の適用により当社子会社の法人税個別帰属額が当社の法人税等から控除されるため、法人税等が△32百万円となった結果によるものであります。

以上